

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2013-535455(P2013-535455A)

【公表日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-050

【出願番号】特願2013-521074(P2013-521074)

【国際特許分類】

C 0 7 C 209/48 (2006.01)

C 0 7 C 211/09 (2006.01)

C 0 7 C 255/24 (2006.01)

C 0 7 C 253/30 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 209/48

C 0 7 C 211/09

C 0 7 C 255/24

C 0 7 C 253/30

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年6月8日(2015.6.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2】

D M A P N は、使用される D M A P N に対して、1 0 0 質量 p p m 以下の D G N 含量を有することを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

W O 2 0 0 7 / 1 2 8 8 0 3 の記載によれば、D M A P A の製造のために、一体製造法または一体装置が使用されることは、有利である。この場合、最初に得られた、D M A P N を有する生成物流は、さらなる工程で D M A P A に変換するために、直接使用されるかまたは後精製後に使用される。この場合、W O 2 0 0 7 / 1 2 8 8 0 3 の教示によれば、D M A P N の D M A P A への還元反応のためには、この還元の際に使用される触媒の使用のために、第 1 の反応からの D M A P N 生成物流の品質が決定的に重要である。従って、W O 2 0 0 7 / 1 2 8 8 0 3 は、D M A と A C N とを連続的な運転方式で反応させることによって D M A P N を製造する方法を教示しており、この場合最初に D M A および引続き A C N が連続的に供給され、およびこの反応流の変換は、第 1 の反応領域内で行なわれ、および少なくとも部分的に第 2 の反応領域内で行なわれる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

開示内容によれば、DMAPNの水素化の際に、WO 2007/128803の教示により2つの別々の反応空間内で製造されるDMAPNがDMAPN水素化に使用される場合には、水素化触媒の寿命は、延長されうる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

こうして得られたDMAPN中のDMAPN対DGNの質量比は、有利に1000000:1~10000000:300の範囲内、特に有利に10000000:5~10000000:250の範囲内、殊に有利に10000000:8~10000000:150の範囲内、殊に10000000:10~10000000:100の範囲内にある。